

エアライン・トレーニング・スタディ(春期)

プログラム区分	海外実習
主幹部署	現代国際学部
研修先国・地域名	オーストラリア・ブリスベン
研修先	Aviation Australia (Queensland 州政府出資施設)
プログラム概要	<p>オーストラリア・ブリスベンにある施設 Aviation Australia (AA) において、全て英語での研修コースです。滞在中は現地の家庭にホームステイし、オーストラリアの日常生活を体験します。インストラクターは外資系エアラインでの豊富な乗務経験を持つ英語のネイティブスピーカーです。機内英語、お客さまへの対応、エアラインの安全全般に関する知識を座学で学んだ後、施設内のモックアップ（シミュレーション用の機体）で実践します。特に安全に関しては、セーフティ・デモンストレーション、緊急脱出、急減圧対応、海上脱出（プール使用）など本格的な内容を体験することが出来ます。最終日には採用試験を想定した英語での模擬面接にも挑戦します。また施設内の整備用飛行機を見学する時間も設けられており、バリエーションに富んだプログラムを通して、エアラインと客室乗務員の仕事を肌で感じる事が出来る 10 日間のコースです。</p>
日程	出発予定時期：2025 年 2 月上旬 期間：2 週間
単位認定	エアライン・トレーニング・スタディ B
他学科生の受入れ	可 受入れ可の他学科：全学科
語学研修の有無	無
語学研修以外の内容	有
問い合わせ先	現代国際学部
その他	

体験記

エアライン・トレーニング・スタディ(春期)に参加して

氏名：長澤美郷（2023 年度参加）

本文：

本研修はブリスベンにある Aviation Australia(以下 AA)にて 2 週間にわたって行われました。午前は座学で専門用語や実習のプロセスなどを学び、午後はモックアップを利用した実践型の授業でした。積極的な発言や実習に挑戦する姿勢が求められました。何事にも自ら進んで挑戦したことにより二週間を通して主体性を伸ばすことが出来たと感じています。また、AA では航空会社の訓練が行われており、緊迫感に満ちた実際の訓練の様子を目の当たりにしたことも刺激になりました。

私は本研修を通して多くの発見をしました。最も印象的だったことは、客室乗務員は乗客の安全だけでなく安心も守るということです。授業や訓練を通して安全の重要性について学び、実際に訓練を体験したことにより、私が日頃から心掛けている「五感を研ぎ澄まして行動する」ことが、お客様の安心と安全を守るために活かすことが出来ると知り、自信につながりました。また、訓練を通してチームワークの重要性について改めて考えることが出来ました。

週末や放課後は友人やホストファミリーとの時間を過ごしました。ワークライフバランス違いや人のおおらかさなど、日本とオーストラリアの文化の違いについて触れることが出来、視野が広がりました。

就職活動直前であり二週間日本を離れることへ不安を抱えておりましたが、年齢や学校が異なる仲間と過ごしていく中で新たな自分を発見することが出来ました。参加して本当によかったと思っています。

